



AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP

# Sustainable Bond Newsletter

サステナブルボンド ニュースレター

2025年5月 第10号

## 目次

1 経済的レジリエンスと持続可能な未来

2 最近のハイライト

4 サステナブルボンドプログラムの  
ハイライト(2024年12月時点)

5 新たな10カ年戦略:豊かで、インクルー  
シブで、レジリエントで、統合された  
アフリカのためにチャンスをつかむ

6 サステナブルハイブリッドキャピタル –  
新たなアセットクラスの導入

7 サステナブルプロジェクト・ポートフォリオ

8 10年を超えるサステナブルな債券発行

10 ポートフォリオ配分

12 変革をもたらすグリーンプロジェクト

14 変革をもたらすソーシャルプロジェクト

16 インパクトレポート

19 透明性と開発成果

20 新たな統合セーフガードシステム

※本ニュースレターの日本語版は、読者への便宜を図る目的で正文の英語版より和訳しています。適宜、英語版をご参照ください。

## 経済的レジリエンスと持続可能な未来

10年にわたり好調な経済実績を達成した後、アフリカ各国はエネルギー価格の高騰、地政学的リスク、食料不安、世界的な高金利といった数々の課題に直面しながらも、優れたレジリエンス(強靭性)を発揮しています。2022年には4.1%であったアフリカの実質GDP成長率は、2023年には3%に減速しましたが、2024年には3.2%へとわずかに上昇し、2025年には4.1%程度にまで加速すると予想されています。2025年の予測成長率は世界平均を1%ポイント近く上回り、アフリカはアジアに次ぐ高成長地域となる見通しです。アフリカ開発銀行(AfDB)は、2025年には、世界の経済成長率上位20カ国のうち12カ国を、アフリカ諸国が占めるようにすると予想しています<sup>1</sup>。

世界的逆風の中でもアフリカがレジリエンスを示していることは喜ばしい進展です。しかしながら、アフリカは今、これまで苦勞して築き上げてきた成果を脅かしかねない、複雑に絡み合った一連の危機への対処を迫られています。気候変動の影響は一層増大・加速しており、紛争や政情不安も急増しています。

今後10年間、アフリカの開発の原動力となるのはその独自の資産、すなわち、若く活力に満ちた労働力、都市部の消費市場の拡大、国家経済の統合、クリーンエネルギーの大きな可能性、そして豊富な天然資源です。アフリカの人口は世界で最も若くかつ最も急速に増えており、人口統計学的にも比類のない機会をアフリカにもたらしています。2030年までに、アフリカの15~35歳の若者は4億7,700万人に達し、アフリカと世界を変革する労働力となる可能性を秘めています<sup>2</sup>。

アフリカの主要な開発金融機関として、AfDBは、アフリカ大陸全体の変革を促進し、持続可能な開発を加速させ、各国のレジリエンスを強化するという揺るぎない取り組みを追求し続けています。AfDBホームページでは「[10カ年戦略 2024-2033](#)」はこの取り組みの指針となるものです。この戦略(5ページ参照)は、豊かで、インクルーシブ(包摂的)で、レジリエント(強靭)で、統合されたアフリカというビジョンを掲げており、それを支えているのは、「インクルーシブなグリーン成長の加速」と「豊かでレジリエントな経済の推進」という2つの戦略目標です。

この新戦略の原動力となるのは、AfDBの「High 5s(ハイ・ファイブズ)」と呼ばれる5つの優先分野、すなわち、「アフリカの電化」、「食料増産」、「工業化」、「地域統合」、「生活の質の向上」です。High 5sはアフリカの開発を加速させるものであり、AfDBが2015年にHigh 5sを策定して以来、アフリカ大陸での融資は4億人以上の人々の生活に恩恵をもたらしてきました<sup>3</sup>。

2024年に、AfDBは借入プログラムの80%をESG債の形で実行し、9億米ドルのグリーンボンドと41億米ドルのソーシャルボンドを発行しました。これにより、AfDBは国際開発金融機関(MDB)の中で最大のソーシャルボンド発行体となりました(2024年12月時点)。AfDBがアフリカ全土での持続可能な開発を促進するという使命を追求し続ける中、そのサステナブルボンドプログラムに関する最新情報、成果、知見を紹介する「サステナブルボンドニュースレター 2025年版」をお届けできることを誇りに思います。なお、AfDBの他のレポートと整合性を取るため、このニュースレターを今号から暦年ベースに変更しました。今回のニュースレターでは、2023年7月から2024年12月までに実施されたプロジェクトを取り上げています。次号の発行は2026年前半を予定しており、2025年1月から12月までのプロジェクトを対象とする予定です。

投資家およびパートナーの皆様のご支援とご協力に感謝いたします。私たちは皆様と力を合わせ、より環境に優しく、よりインクルーシブでレジリエントなアフリカの未来に向けて大きく前進しています。

<sup>1</sup> Africa's Macroeconomic Performance and Outlook - January 2025

<sup>2</sup> The Ten-Year Strategy African Development Bank Group (2024 - 2033)

<sup>3</sup> Making a Difference - The Bank at 60



## 最近のハイライト

### 歴史的な初の米ドル建てサステナブルハイブリッド キャピタルの取引を開始

2024年1月、AfDBは初の[ハイブリッドキャピタル](#)の価格設定を行いました。この7億5,000万米ドルのノンコール10.5年永久劣後債はサステナビリティボンドとして発行され、利率は5.75%、AfDBの裁量により早期償還が可能なファーストコール日までの期間は10.5年です。投資家の需要は非常に旺盛で、ピーク時の注文総額は60億米ドルを超えました。

### 新たなサステナブルボンド枠組みに基づく初の ソーシャルボンドで2024年の資金調達を開始

2024年1月、AfDBは2027年2月償還の20億米ドルの3年物ソーシャルグローバルベンチマーク債を発行しました。これは2023年9月に策定されたAfDBの新たな[サステナブルボンド枠組み](#)の下で発行された初のソーシャルボンドであり、AfDBにとって2024年最初のグローバルベンチマーク債となりました。

### 2024年にオーストラリアのESG市場で計9億豪ドルの カンガルー債を発行

2024年2月、AfDBはオーストラリア市場で2024年最初のグリーンボンドを発行しました。これは2029年5月償還の5億豪ドルの5年物グリーンカンガルー債で(2024年5月に1億豪ドル増額)、AfDBの新たなサステナブルボンド枠組みの下で発行された最初のグリーンボンドとなりました。また、2026年12月償還と2032年8月償還の2つのソーシャルカンガルー債を合計3億500万豪ドル増額しました。

### 初のユーロ建てグリーンボンド

2024年5月、AfDBはユーロ市場で初のグリーンボンドを発行しました。これは2028年3月償還の5億ユーロの4年物グリーングローバルベンチマーク債で、AfDBのユーロ建てベンチマーク債としては過去最大の注文高(30億ユーロ)を記録し、AfDBのサステナブルボンド枠組みとグリーン資産の質に対する強い信頼が示されました。

### ESG資本市場における認知度

AfDBは初のハイブリッドキャピタルの発行により、「TXFグローバル2024」カンファレンスにおいて「年間最優秀開発金融機関(DFI)」賞を受賞しました。また、グローバル・キャピタルもAfDBを2024年の「最も革新的なSSA発行体」に選出しました。さらに、AfDBの取り組みが認められ、AfDBのサステナブルハイブリッドキャピタルはCMDポータルにより「トップディール」として評価されました。これらに加え、AfDBのサステナブルハイブリッドキャピタルが「ベスト国際機関債」に、2028年3月償還の20億ノルウェークローネ(NOK)建ての5年物グリーンボンドが「ベストNOK債」に選出されるなど、EMEA Financeから3つの賞を受賞しました。

### ミッション300アフリカ・エネルギー・サミット - 各国首脳が アフリカのエネルギー部門の変革を約束

[ミッション300](#)は、AfDB、世界銀行、グローバル・パートナーが協力し、最新の技術と革新的なファイナンスを駆使してアフリカの電力アクセス格差の解消を目指す前例のない取り組みです。2025年1月、ミッション300のパートナーは、アフリカ全土のエネルギーアクセス拡大を支援するために500億米ドル超の拠出を約束しました。また、合計で30人のアフリカの指導者が「ダルエスサラーム・エネルギー宣言」においてそのコミットメントを表明し、アフリカのエネルギー格差解消に向けた重要なマイルストーンとなりました。

### MDBの気候ファイナンスは2023年に過去最高の 1,250億米ドルを記録

AfDBを含む国際開発金融機関(MDB)は2024年9月に「[MDB共同気候ファイナンスレポート](#)」第13版を発行し、世界の気候変動対策のための共同融資額が2023年に過去最高の1,250億米ドルに達したことを発表しました。これは、2019年の国連事務総長主催の気候行動サミットでMDBが新たな目標を合意した際の水準の2倍以上に相当します。1,250億米ドルのうち750億米ドルが低中所得国に配分され、その67%が気候変動緩和に、33%が気候変動適応に充てられました。





## 改訂後の統合セーフガードシステムの発効

AfDBが改訂した[統合セーフガードシステム](#) (ISS) が2024年5月に発効しました。改定後の方針は、環境的および社会的な持続可能性を優先しながら、アフリカ全体でインクルーシブ(包摂的)な成長を促進することを目的とした、AfDB支援の事業に対する包括的な枠組みを提供するものです。また、借入人に対する金融機関としての役割、責任、説明責任も明確にしています(20~21ページ参照)。

## 気候ファイナンス強化のためのアフリカ炭素市場 イニシアティブに参加

2024年5月、AfDBは[アフリカ炭素市場イニシアティブ](#) (ACMI) への加盟を発表しました。エジプトで開催された第27回気候変動枠組条約締約国会議(COP27)で発足したACMIは、アフリカの自主的炭素市場とコンプライアンス炭素市場を拡大させており、パリ協定に基づく世界的な炭素削減に対するアフリカの貢献度を高めています。この戦略的動きによって、アフリカ諸国と民間セクターは気候変動問題に効果的に対処するための追加的なリソースを確保できるようになります。

## アフリカの食料安全保障とレジリエンスを支える 政治的意思

2023年、[ダカール2サミット](#)において、各国首脳はアフリカの潜在的な食料生産能力を引き出すために政府のリソース、開発パートナーおよび民間セクターの資金を動員・調整すべく会合を開き、アフリカ全土の農業開発と変革のために720億米ドルを動員するという決意を表明しました。この目標に向けてAfDBは29億米ドルの投資を約束しています。

## 緑の気候基金がアフリカの角における気候レジリエンス を支援

[緑の気候基金](#)は、「[アフリカの角における食料と生計のための気候レジリエンス構築プログラム](#)」を支援するために、1億5,100万米ドルの資金提供を約束しました。これは、アフリカの角の気候脆弱性に対処するためにAfDBが支援する大規模なレジリエンスプログラムです。この資金提供は、ジブチ、エチオピア、ケニア、ソマリア、南スーダンの460万人の人々に恩恵をもたらします。



## サステナブルボンドプログラムのハイライト (2024年12月時点)

### サステナブルボンドの発行残高:106億ドル

98億ドル

適格プロジェクトに配分  
3年間の配分  
スケジュール通り

19%

81%

#### グリーンプロジェクト



360万MT CO<sub>2</sub>e  
温室効果ガス(GHG)の年間削減量



693 MW

新設又は改修される再生  
可能エネルギー発電容量



2億4,700万m<sup>3</sup>

水の年間処理量/節水量

#### ソーシャルプロジェクト



780万人

水と衛生へのアクセス改善



1,020万トン

1年間の農業生産増加量



120万人

雇用創出

### 外部機関による検証

ISS-Corporate (以下「ICS」)は、2025年版のサステナブルボンドニュースレターが、アフリカ開発銀行の「サステナブルボンド枠組み」で宣言されたコミットメントおよび国際資本市場協会(ICMA)の「グリーンボンドおよびソーシャルボンド・インパクトレポートの共通枠組み」の基本原則に準拠していることを確認しました。ICSはまた、サステナブルボンドの配分とインパクト指標の質に関して提供された詳細情報が、市場のベストプラクティスに準拠していることを確認しました。さらに、この評価にはICSによる限定的保証の結論が含まれており、これについてはAfDBのサステナブルボンドプログラムのウェブページで閲覧可能です。

## 新たな10か年戦略：豊かで、インクルーシブで、レジリエントで、統合されたアフリカのためにチャンスをつかむ

AfDBは2024年5月の年次総会で、新たな[10か年戦略 \(2024-2033\)](#)を発表しました。この戦略は、アフリカの差し迫った課題に立ち向かい、アフリカ大陸を持続的な経済成長と繁栄へと確実に導くための青写真となるものです。

過去10年間にHigh 5sの下で成功を収めてきた取り組みを基に、AfDBは引き続き「アフリカの電化」、「食料増産」、「工業化」、「地域統合」、「生活の質の向上」という優先分野に注力しています。これにより、アフリカにおける(1)インクルーシブなグリーン成長の加速、(2)豊かでレジリエントな経済の推進、という新たな10か年戦略の2つの目標の達成が加速されます。

新たな戦略が重点を置いているのは、地域統合の強化、製薬と保健医療体制の拡充、豊富な天然資源の持続可能な利用、インフラの強化、デジタル化の拡大、そしてアフリカが持つ膨大なクリーンエネルギーを活用したグリーン成長の促進です。この戦略は、アフリカ最大の資産である活力に満ちた若者への投資のあり方も示しています。アフリカの人口は世界で最も若くかつ最も急速に増えており、人口統計学的にも比類のない機会をアフリカにもたらしています。

戦略のハイライト:

- **女性と若者への投資:** 女性と若者のエンパワメントによって格差を是正し、包摂性を推進します。
- **気候変動への適応:** 気候変動に対するアフリカの脆弱性を認識し、生物多様性と自然を保護しながら、パリ協定に沿った低炭素開発を促進します。
- **脆弱国の支援とレジリエンスの構築:** 紛争、脆弱性、政情不安が増大する中、脆弱な国への支援を強化します。
- **グッドガバナンスの推進:** 国内リソースの動員、透明性のある財政管理、汚職防止対策など、経済ガバナンスの重要性を強調します。



課題の規模や緊急性を踏まえると、より多くのリソースが必要になります。資金に制約のある状況で、AfDBは国内歳入や民間資金を含む多様な財源から資金を動員することを約束しています。AfDBは、革新的なメカニズムを通じて融資能力を強化する一方、2033年までに民間セクターの資金を3倍に増やすことを目指しています。MDBにバランスシートの可能性を最大限活かすよう求める声に応じて、AfDBは10か年戦略の期間中、融資能力を高めるためのさまざまな選択肢を追求していきます。バランスシートの最適化措置としては、ハイブリッドキャピタルや合成リスク移転、そして国際通貨基金(IMF)の特別引出権の大部分をMDBを通じて再配分することなどが挙げられます<sup>4</sup>。

<sup>4</sup> <https://www.afdb.org/en/news-and-events/press-releases/african-development-bank-and-interamerican-development-bank-welcome-international-monetary-funds-imf-executive-boards-decision-approving-use-sdrs-hybrid-capital-instruments-70788>



## サステナブルハイブリッドキャピタル - 新たなアセット クラスの導入

このところ、過去10年にわたる世界的な発展や進歩を脅かしかねない複雑に絡み合ったグローバル規模の課題が発生していますが、これは特にアフリカにおいて顕著です。MDBは株主から、集団的にも個別的にも対応を拡大するよう求められています。このような状況で、2022年にG20はMDBの融資能力を底上げする方策を探るため、MDBの「自己資本充実度の枠組み」の見直しを委託しました。この見直しにおいて、MDBの融資能力を向上させる上で重要となる手段の1つはハイブリッドキャピタルであることが確認されました。

AfDBによるハイブリッドキャピタルへの取り組みは2020年に始まり、2024年1月に初めて7億5,000万米ドルのノンコール10.5年永久債としてサステナブルハイブリッドキャピタルを発行しました。これはMDBによる初の公募形式のハイブリッドキャピタルの発行であり、G20<sup>5</sup>の勧告に沿ったバランスシート最適化におけるAfDBの先駆的な役割を示すものです。AAA格付けのMDBによる初めての公募形式のハイブリッドキャピタルの発行により、AfDBは融資能力の向上に向けた第一歩を踏み出すと同時に、すべてのMDBにとって新しいアセットクラスの創造に貢献しました。

この債券はサステナビリティボンドとして組成され、調達資金はAfDBのサステナブルボンド枠組みが定義する適格グリーンプロジェクトと適格ソーシャルプロジェクトを組み合わせたポートフォリオに配分されます。配分は1対1の比率で行われました。特筆すべきは、すべてのサステナブルボンド（優先無担保債およびハイブリッドキャピタル）の調達資金を、AfDBがICMAのグリーンボンド原則およびソーシャルボンド原則で定義されているポートフォリオ・アプローチを用いて運用していることです。ハイブリッドキャピタルはサステナブルプロジェクト・ポートフォリオの全体的構成に合わせ、適格グリーンプロジェクトに20%、適格ソーシャルプロジェクトに80%の割合で資金を比例配分します。

この配分に加え、AfDBはハイブリッドキャピタルの発行により、転貸能力の面で大きなレバレッジ効果を達成しました。AfDBの融資能力は大幅に向上する見通しで、7億5,000万米ドルのハイブリッドキャピタルで見込まれている3倍のレバレッジにより、環境およびソーシャルプロジェクト向けにさらに22億米ドルの融資が可能になります。

AfDBのハイブリッドキャピタルは、国際財務報告基準(IFRS)の下で100%自己資本として会計処理されます。また、3大格付機関からも100%自己資本として認められており、ムーディーズからは「Aa3」、S&Pからは「AA-」の格付けを受けました。この初回取引では投資家の需要は非常に高く、AfDBはトップクラスの質と多様性を備えたオーダーブックを達成しました。参加した投資家は275を超え、そのうち190を超える投資家に割り当てが行われ、ピーク時の注文総額は60億米ドルを超えました。

今後、AfDBはハイブリッドキャピタルを資金調達手段に加え、ハイブリッドキャピタルをさらに発行していく意向です。最終的に、ハイブリッドキャピタルはAfDBの融資に乗数効果をもたらし、食料安全保障、水と衛生へのアクセス、保健医療サービス、気候変動など、アフリカが抱える最も重要な開発課題に取り組むプロジェクトへの資金提供を目的とした優先無担保グリーン/ソーシャル/サステナビリティボンドの追加発行を可能にします。



「年間最優秀開発金融機関」



「ベスト国際機関債」

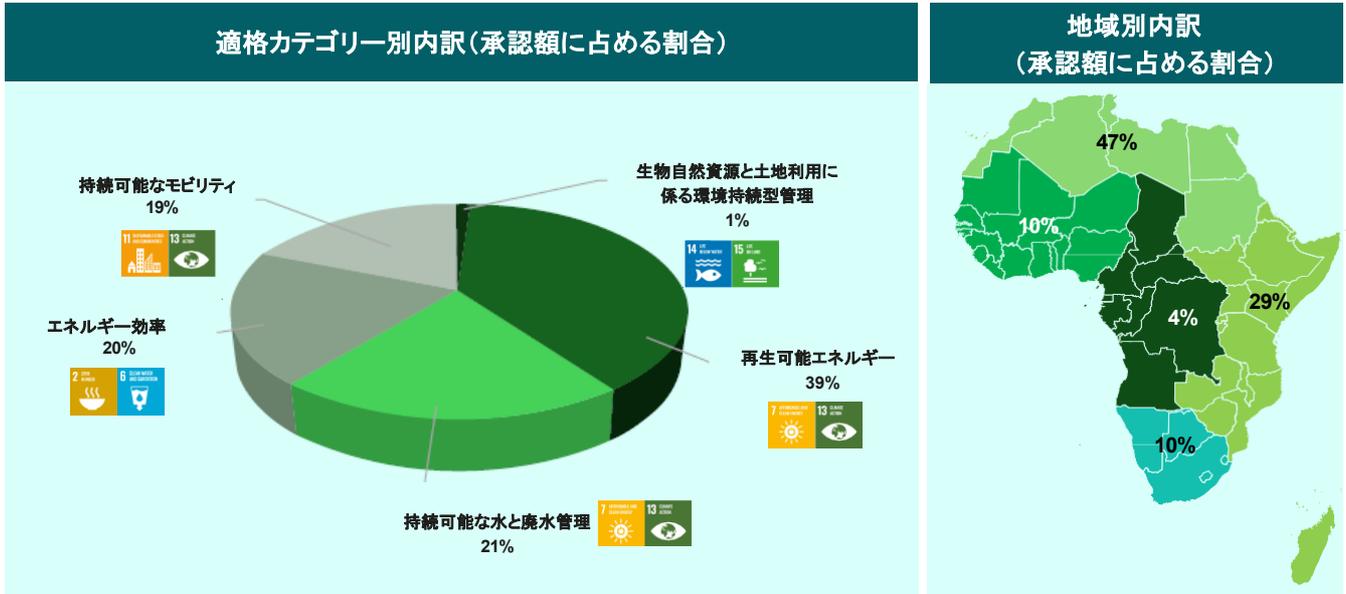


「最も革新的なSSA発行体」

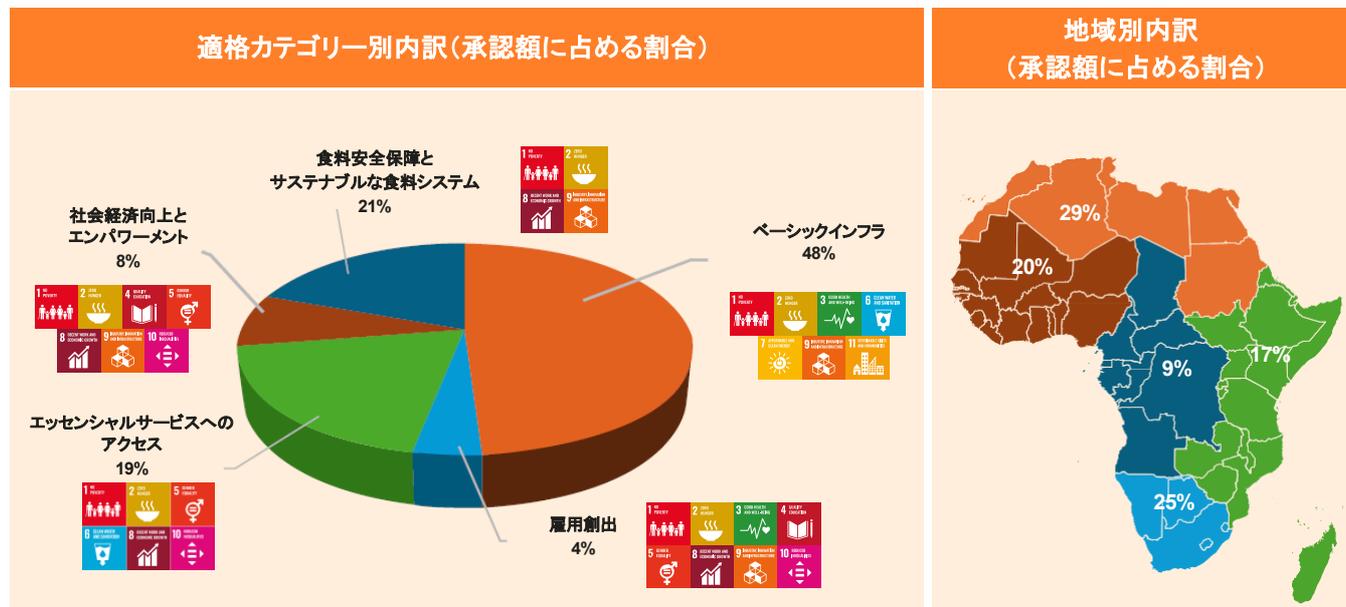
<sup>5</sup> [Boosting MDBs' Investing Capacity - An Independent Review of MDBs Capital Adequacy Frameworks](#)

## サステナブルプロジェクト・ポートフォリオ

グリーンポートフォリオに39億米ドルを出資(2024年12月時点)



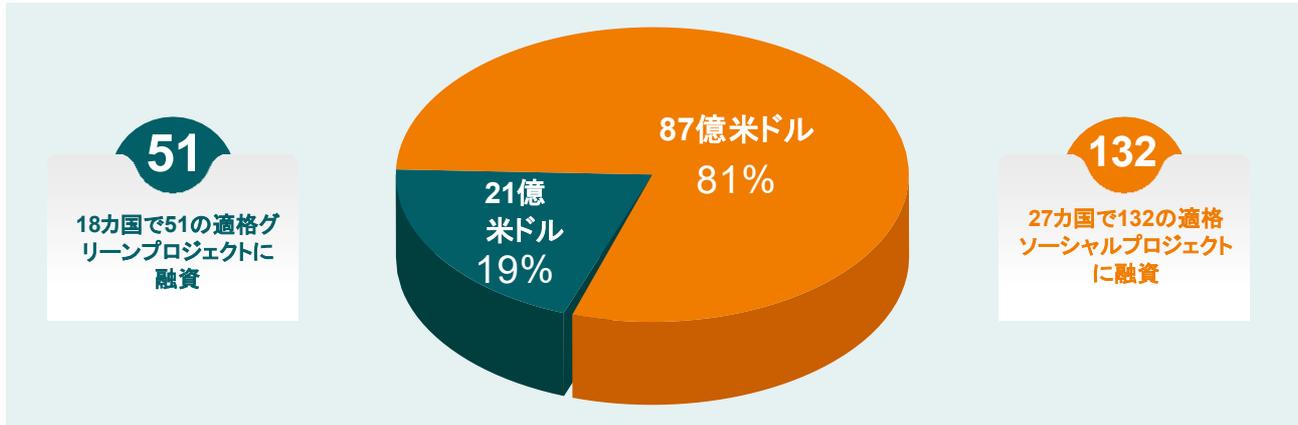
ソーシャルポートフォリオに134億米ドルを出資(2024年12月時点)





## 融資残高

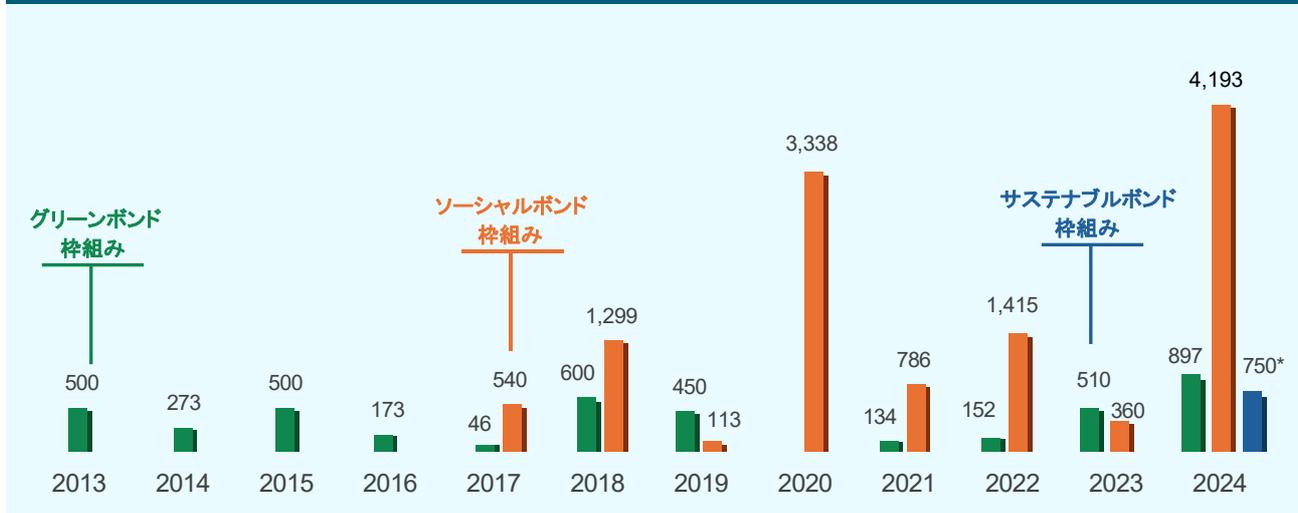
2024年12月時点で、サステナブルプロジェクト・ポートフォリオ（適格グリーンプロジェクトおよび適格ソーシャルプロジェクト）の残高は、約110億米ドル（融資実行残高）に達しています。



## 10年を超えるサステナブルな債券発行

AfDBにはESG市場の主要なプレーヤーとして過去10年にわたりサステナブルな債権の発行実績により、優良なESG投資家をグリーンボンドやソーシャルボンド取引に呼び込むことに大きな成功を収めてきました。2013年にはグリーンボンド市場で、2017年にはソーシャルボンド市場で債券を発行した初のソブリン・国際機関・政府系機関（SSA）発行体の1つとなりました。AfDBはESG市場の世界的な発展に積極的に貢献しており、現在ではアフリカ最大のESG債発行体となっています。また、2024年12月時点、MDBの中で最大のソーシャルボンド発行体です。

サステナブルな債券発行額(百万米ドル)



\*注: ハイブリッドキャピタルはAfDBの年次借入プログラムに含まれていません。



## 174億米ドルのサステナブルボンドを発行(2013年～2024年の累計)

	発行数	発行総額 (十億米ドル)	未償還 債券数	発行残高 (十億米ドル)	発行通貨
グリーンボンド	17	4,235	9	1,767	EUR, USD, SEK, NOK, AUD, ZAR
ソーシャルボンド	14	12,044	9	8,053	EUR, USD, SEK, NOK, AUD, GBP
サステナビリティボンド*	1	750	1	750	USD
合計	32	17,029	19	10,570	

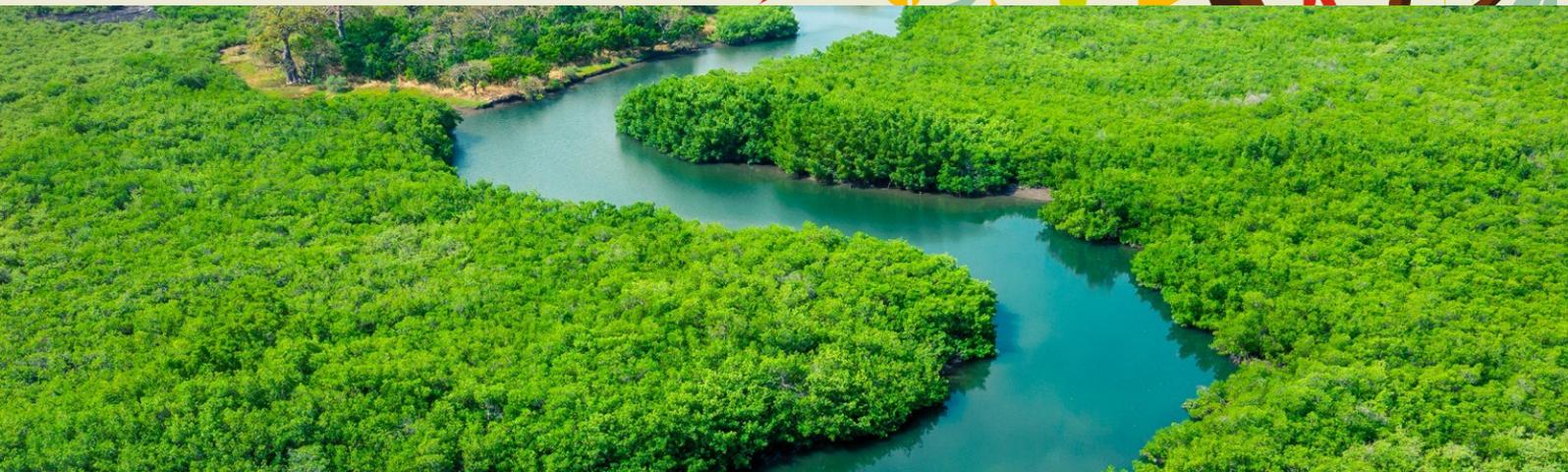
\*サステナブルハイブリッドキャピタル

市場環境が許す限り毎年1本以上サステナブルボンド(グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド)を発行するというコミットメントの下、ESG市場におけるAfDBの活動は、ESG投資家には質の高い商品を、AfDBには投資家の貴重な多様化をもたらしてきました。近年開始されたいくつかの先駆的なESG取引、特に、最近策定されたサステナブルボンド枠組みの下でのAfDB初のサステナビリティボンドの発行と、2024年1月のサステナブルハイブリッドキャピタルの発行は、この市場に対するAfDBのコミットメントを裏付けています。

## 近年のサステナブルな債券発行(2023年7月～2024年12月<sup>6</sup>)

発行日	ISIN	発行されたサステナブルボンド	ESGラベル
2023年7月	AU3CB0297273	2038年3月償還の2,500万豪ドルの15年物グリーンカンガルー債 - タップ発行	
2023年7月	XS2658239806	<a href="#">2025年8月償還、利率5.5%の3億英ポンドの2年物ソーシャルグローバルベンチマーク債</a>	
2023年9月	AU3CB0297273	2038年3月償還の7,500万豪ドルの15年物グリーンカンガルー債 - タップ発行	
2023年10月	XS2712527063	2027年11月償還の10億スウェーデンクローナ(SEK)の4年物グリーンボンド	
2024年1月	US008281BF39	<a href="#">利率5.75%の7億5,000万米ドルのノンコール10.5年永久サステナブルハイブリッドキャピタル</a>	
2024年1月	US00828EEZ88	<a href="#">2027年2月償還、利率4.125%の20億米ドルの3年物ソーシャルグローバルベンチマーク債</a>	
2024年2月	AU3CB0307346	2029年5月償還の5億豪ドルの5年物グリーンカンガルー債	
2024年3月	AU3CB0288686	2032年10月償還の5,500万豪ドルの8年物ソーシャルカンガルー債 - タップ発行	
2024年4月	AU3CB0280907	2026年12月償還の2億5,000万豪ドルの2年物ソーシャルカンガルー債 - タップ発行	
2024年5月	AU3CB0307346	2029年5月償還の1億豪ドルの5年物グリーンカンガルー債 - タップ発行	
2024年5月	XS2824765338	<a href="#">2028年3月償還、利率2.875%の5億ユーロの4年物グリーングローバルベンチマーク債</a>	
2024年9月	US00828EFD67	<a href="#">2029年9月償還、利率3.500%の20億米ドルの5年物ソーシャルグローバルベンチマーク債</a>	

<sup>6</sup> 2025年1月に、AfDBは2030年2月償還の5億豪ドルの新発5年物ソーシャルカンガルー債を発行しました。



## ポートフォリオ配分

以下の表では、資産と負債の通貨に依存しない、グリーンボンドとソーシャルボンドの単純な発行額と配分比率を示しています。実際には、AfDBは米ドル、ユーロ、南アフリカランド(ZAR)の3つの独立した通貨プールを運営しており、サステナブルプロジェクト・ポートフォリオ内のプロジェクトは米ドル建て、ユーロ建て、または南アフリカランド建てとなっています。そのため、ユーロ建て融資はユーロ建て債券に(スワップ後)、米ドル建て融資は米ドル建て債券に、といった具合にマッチングされます。このように、総発行額と配分比率は、各通貨建ての残高とは異なる場合があります。

### グリーンボンドの配分(2024年12月時点)

適格グリーンポートフォリオ		未償還のグリーンボンド						
プロジェクトカテゴリー	残高 (百万米ドル*)	ISIN	発行年	満期	通貨	発行残高 (各通貨の 百万単位)	発行残高 (百万米ドル*)	グリーン プロジェクト への配分
エネルギー効率	338	AU3CB0240661	2017	2031	AUD	140	102	100%
生物自然資源と土地利用 に係る環境持続型管理	18	XS2333243298	2021	2026	SEK	1,000	118	100%
		XS2441555880	2022	2027	SEK	1,500	141	100%
		XS2581365785	2023	2028	SEK	1,500	141	100%
再生可能エネルギー	782	XS2596456389	2023	2028	NOK	2,000	181	100%
持続可能なモビリティ	464	AU3CB0297273	2023	2038	AUD	150	99	100%
持続可能な水と廃水管理	508	XS2712527063	2023	2027	SEK	1,000	89	100%
		AU3CB0307346	2024	2029	AUD	600	377	100%
		US008281BF39**	2024	2034	USD	150	150	100%
		XS2824765338	2024	2028	EUR	500	520	81.0%
<b>Total</b>	<b>2,110</b>						<b>1,917</b>	

\* 2024年12月31日時点の為替レートに基づく米ドル換算額。

\*\* 7億5,000万米ドルのサステナブルハイブリッドキャピタルの配分比率は、グリーンプロジェクトに20%、ソーシャルプロジェクトに80%。



## ソーシャルボンドの配分(2024年12月時点)

適格グリーンポートフォリオ		未償還のグリーンボンド						
プロジェクトカテゴリー	残高 (百万米ドル*)	ISIN	発行年	満期	通貨	発行残高 (各通貨の 百万単位)	発行残高 (百万米ドル*)	ソーシャル プロジェクト への配分
エッセンシャルサービス へのアクセス	2,332	XS1824248626	2018	2028	EUR	1,025	1,299	100%
		XS2387859288	2021	2026	SEK	2,000	204	100%
		XS2333240864	2021	2026	NOK	1,000	118	100%
ベーシックインフラ	3,393	AU3CB0280907	2021	2026	AUD	600	465	100%
		XS2532472235	2022	2029	EUR	1,025	1,299	100%
食料安全保障とサステ ナブルな食料システム	1,825	AU3CB0288686	2022	2032	AUD	210	116	100%
		XS2658239806	2023	2025	GBP	300	360	100%
		US00828EEZ88	2024	2027	USD	2,000	2,000	100%
社会経済向上と エンパワーメント	503	AU3CB0280907**	2024	2026	AUD	250	157	100%
		AU3CB0288686**	2024	2032	AUD	55	36	100%
雇用創出	603	US008281BF39***	2024	2034	USD	600	600	100%
		US00828EFD67	2024	2029	USD	2,000	2,000	65%
<b>Total</b>	<b>8,656</b>						<b>8,653</b>	

\* 2024年12月31日時点の為替レートに基づく米ドル換算額。

\*\* Tap発行

\*\*\* 7億5,000万米ドルのサステナブルハイブリッドキャピタルの配分比率は、グリーンプロジェクトに20%、  
ソーシャルプロジェクトに80%。





## 変革をもたらすグリーンプロジェクト



### チュニジア

#### 気候レジリエンス構築のための処理済み廃水水質改善プロジェクト

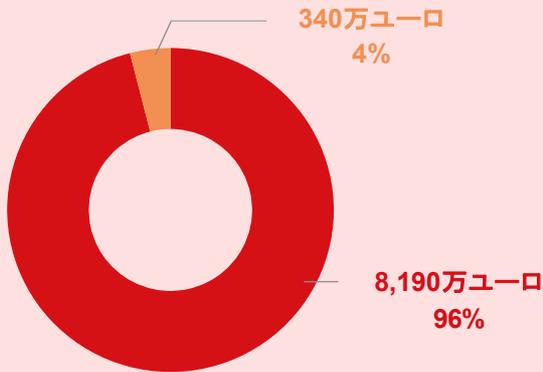
プロジェクトカテゴリ: 持続可能な水・廃水管理

承認年: 2023年

融資実行年: 2024年<sup>7</sup>



総プロジェクト費用: 8,530万ユーロ



■ アフリカ開発銀行

■ チュニジア下水整備公社 (ONAS)

このプロジェクトは、水収支の改善、気候レジリエンスの構築、そして人々の生活環境の向上を目的としています。処理済み廃水を再利用することで、水の利用可能量を増やし、水需要と資源のバランスを改善することができます。このプロジェクトにより、チュニジアは気候変動に対するレジリエンスを強化し、ますます頻発化する渇水年にあらゆる用途に必要な水を供給できるようになります。処理済み廃水の水質改善は、人々の生活環境の向上に役立ちます。



<sup>7</sup> 適格プロジェクトは、融資の実行が開始された時点でサステナブルプロジェクト・ポートフォリオに追加されます。



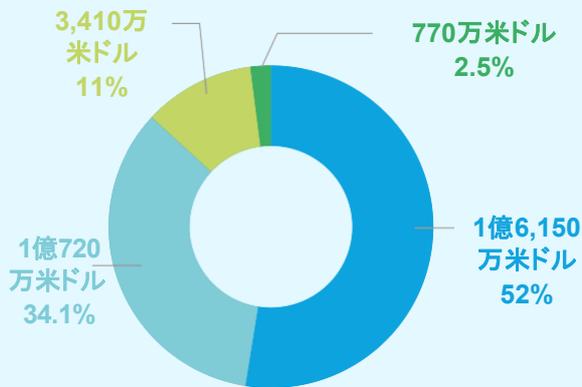
## タンザニア

### カコノ水力発電プロジェクト

プロジェクトカテゴリー: 再生可能エネルギー  
承認年: 2022年  
融資実行年: 2024年



総プロジェクト費用: 3億1,050万米ドル



- アフリカ開発銀行
- フランス開発庁
- 欧州連合 / アフリカ投資プラットフォーム
- タンザニア政府

このプロジェクトは、タンザニア北西部で進行中および計画中の他のプロジェクトとともに、再生可能エネルギーの生産拡大に貢献します。また、特に湖沼地帯のカゲラ、ガイタ、ムワンザ地域の電力不足の解消にも寄与します。コンクリート打設のロックフィルダム(高さ約42メートル、長さ約1,380メートル)と重力式転圧コンクリートダム(高さ約61メートル、長さ約284メートル)を建設し、ダム先端部に設置される屋外発電所によって水力発電が行われます。総プロジェクト費用は3億1,050万米ドルと見積もられており、これには予備費が含まれますが、地方税や、重量超過道路輸送サーチャージなどの賦課金は含まれていません。





## 変革をもたらすソーシャルプロジェクト



### カーボベルデ

#### カーボベルデ・パーク フェーズII

プロジェクトカテゴリー: ベーシックインフラ

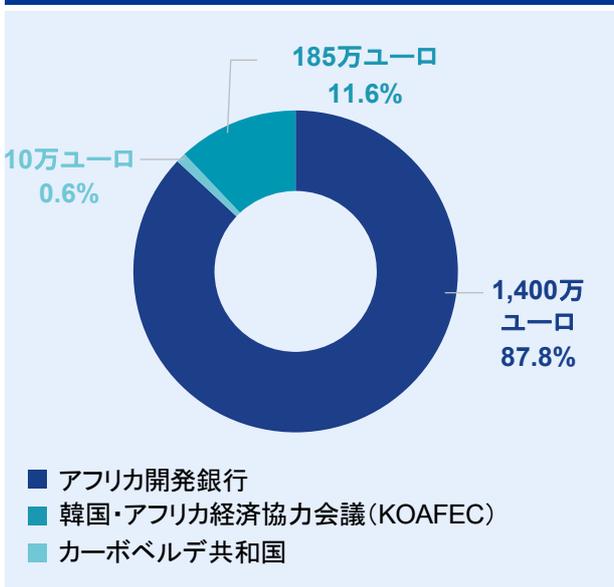
- 情報通信技術 (ICT)

承認年: 2022年

融資実行年: 2024年



総プロジェクト費用: 1,595万ユーロ



このプロジェクトの目的は、近代的なインフラとワークスペースを備えたテクノロジーパークを稼働させ、革新的な環境を作り出すことで、カーボベルデをデジタル・イノベーションハブに変革することです。このパークは、新興のスタートアップ企業から多国籍テクノロジー企業 (通信会社、ソフトウェア開発会社、アニメ制作会社など) に至るまで、さまざまな企業に対応できるよう設計されています。





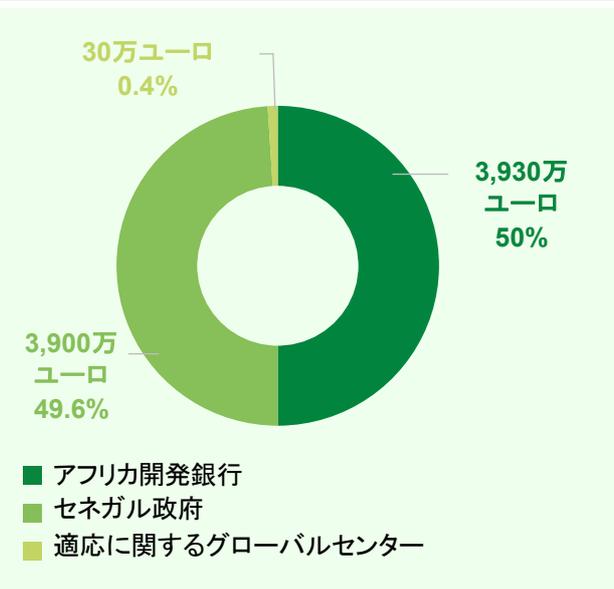
## セネガル

### 全国総合畜産開発プログラム - フェーズ1

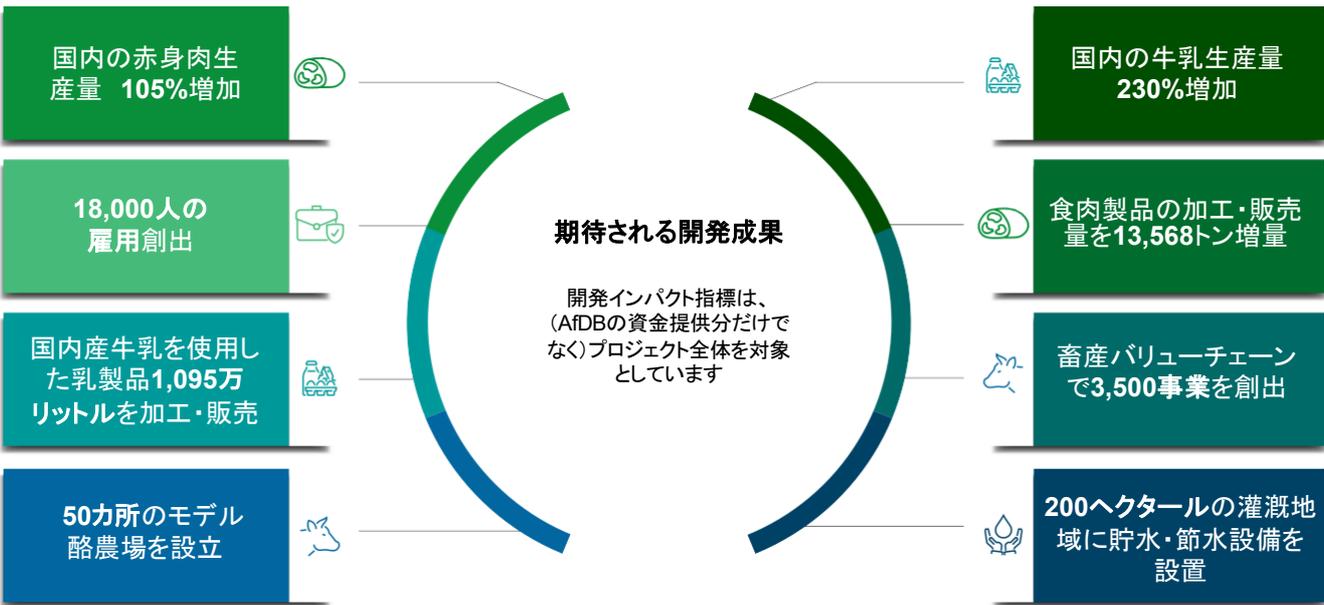
プロジェクトカテゴリー: 食料安全保障と持続可能な食料システム  
承認年: 2022年  
融資実行年: 2024年



総プロジェクト費用: 7,860万ユーロ



このプロジェクトの目的は、若者と女性のために、競争力があり、気候レジリエントで、雇用を創出するバリューチェーンの開発に貢献することです。この目的は、(1)生産性と家畜生産の持続的拡大、(2)畜産物の加工とマーケティングの改善、(3)参加者の専門性の向上、という3つの具体的な目標に分かれます。



## インパクトレポート

本レポートは、AfDBの新たなサステナブルボンド枠組みに基づく最初のインパクトレポートです。そのため、改訂後のプロジェクト適格基準がサステナブルプロジェクト・ポートフォリオ全体に適用されています。これに伴い、いくつかの重要な変更が生じており、本ニュースレター末尾の表にて詳細を掲載しています。

主な変更点は、7件のプロジェクトをグリーンポートフォリオからソーシャルポートフォリオに移行したことです。いずれも水・廃水管理プロジェクトであり、その大半が新規の気候変動適応型プロジェクトです。この分野において、新たなサステナブルボンド枠組みに基づくグリーンプロジェクトの適格基準を満たすための節水・省エネに関するデータがAfDBに存在しなかったため、保守的なアプローチを採用し、これらのプロジェクトをソーシャルポートフォリオの「ベーシックインフラ」プロジェクトカテゴリーに移行しました。また、サステナブルプロジェクト・ポートフォリオからバイオガスプロジェクト1件を完全に除外しました。AfDBはこのプロジェクトカテゴリーをグリーンプロジェクトと定義していましたが、この分野でAfDBが融資する適格プロジェクト候補の数は限られているため、このプロジェクトカテゴリーはサステナブルボンド枠組みには含まれませんでした。サステナブルプロジェクト・ポートフォリオの変更に関する詳細は、本ニュースレターの末尾をご覧ください。

### グリーンポートフォリオの総合インパクトレポート(2024年12月時点)

360万 MTCO<sub>2</sub>e

1年間に削減又は回避されるGHG排出量

693 MW

新設又は改修される再生可能エネルギー発電容量

2,070,000 MWh

1年間に生産されるエネルギー

297,000 MWh

1年間に節約されるエネルギー

2億4,700万m<sup>3</sup>

水の年間処理量／節水量

1億2,400万m<sup>3</sup>

1年間に処理・再利用又は回避される廃水量

75,000ヘクタール

灌漑地

42,000ヘクタール

荒廃した森林の再生または保護

534,000本

植林数<sup>8</sup>

1,340万人

裨益者<sup>9</sup>

280万人

雇用創出

注: このインパクトレポートはプロジェクト審査時点における事前評価に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はありません。このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではありません。インパクトは、プロラタ方式でプロジェクトにおけるAfDBの融資割合に比例して算出されます。プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは、[こちら](#)からダウンロードできます。

<sup>8</sup> 植樹数には、「荒廃した森林の再生または保護」のカテゴリーで報告された森林プロジェクトは含まれていません。

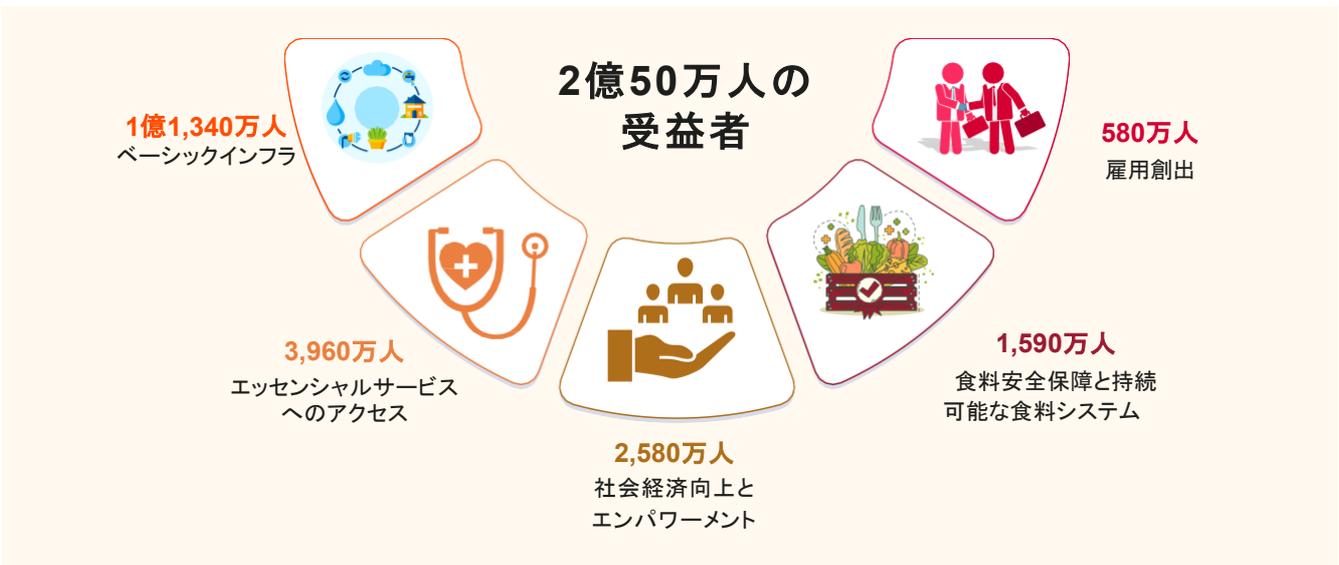
<sup>9</sup> 国連統計局とAfDB統計部門によると、2019年のアフリカの平均世帯人数は4.69人でした。

## ソーシャルポートフォリオの総合インパクトレポート(2024年12月時点)



注:このインパクトレポートはプロジェクト審査時点における事前評価に基づいているため、これらの成果が最終的に実現する保証はありません。このインパクトレポートは、特定の年または報告期間に達成された実際の成果を提示するものではありません。インパクトは、プロラタ方式でプロジェクトにおけるAfDBの融資割合に比例して算出されます。プロジェクトごとの完全なインパクトレポートは、[こちら](#)からダウンロードできます。

## ソーシャルポートフォリオ受益者のプロジェクトカテゴリー別分布(2024年12月時点)



## セクター別の受益者数(百万人)





## 2023年のインパクトレポートの更新

以下の表に記載されているとおり、2023年のインパクトレポートに対して以下の重要な更新が行われました。これらの内容は、現在のバージョンに反映されています。

<p><b>エチオピア - 産業開発とアクセス拡大のためのメケレ-ダロル間およびセメラ-アフデラ間の電力供給プロジェクト</b></p>	<p>このプロジェクトは、手頃な価格かつ持続可能な電力供給へのアクセス拡大とサービス提供の改善に寄与します。エネルギー節約量の計算にあたっては、エネルギー供給量である613,000MWhを除外しました。</p>
<p><b>モロッコ - 送電網開発・農村電化プログラム(PDRTE-ER)</b></p>	<p>このプロジェクトは、電力供給の安全性と効率性の向上に寄与します。再生可能エネルギー発電の算定から除外された581MWの再生可能電力の接続を可能にします。</p>
<p><b>ケニア - グリーンゾーン開発支援プロジェクト(フェーズ2)</b></p>	<p>327,800ヘクタールの荒廃した森林を再生するための森林再生プロジェクトです。CO<sub>2</sub>e削減量は従来3億500万トンと計算されていましたが、210万トンに修正されました。</p>
<p><b>アンゴラ - エネルギーセクター効率化・拡大プログラム(ESEEP) フェーズ1</b></p>	<p>本プロジェクトはアンゴラの送配電網を強化するプロジェクトで、CO<sub>2</sub>e削減量は、これまで1,620万トンと計算されていました。現在のプロジェクト段階を踏まえ、現時点では新たな試算ができないため、インパクトレポートでは294トンという保守的な数字を使用しています。</p>
<p><b>南アフリカ - トランスネット社向けコーポレートローン</b></p>	<p>手法の変更により、この汎用コーポレートローンにはインパクト属性が割り当てられていません。これまでは350万MTCO<sub>2</sub>eの削減効果があるとされてきました。</p>

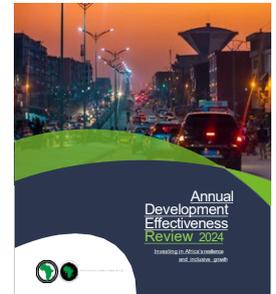
## 2024年のサステナブルプロジェクト・ポートフォリオの更新

プロジェクト	国	プロジェクト カテゴリー	融資通貨	AfDB 融資額(各通貨 の百万単位)	更新内容
<a href="#">レババ平野管理開発プロジェクト(PAVAL)</a>	ブルキナ ファソ	持続可能な水資源 と廃水管理	EUR	27	ソーシャル ポートフォリオに 移行
<a href="#">アビジャン自治区衛生・生活環境改善プロジェクト(PAACCA)</a>	コートジ ボワール	持続可能な水資源 と廃水管理	EUR	48	ソーシャル ポートフォリオに 移行
<a href="#">水へのアクセスの持続可能性および確実性強化プロジェクト(PPSAE) - (追加融資)</a>	モロッコ	ベーシック インフラ	EUR	18	ソーシャル ポートフォリオに 移行
<a href="#">ムンバ多目的水資源開発プログラム</a>	ルワンダ	ベーシック インフラ	EUR	122	ソーシャル ポートフォリオに 移行
<a href="#">バリューチェーン開発のための水資源活用プロジェクト</a>	セネガル	ベーシック インフラ	EUR	61	ソーシャル ポートフォリオに 移行
<a href="#">農業収入向上および森林保全プログラム - プロジェクト2</a>	ウガンダ	ベーシック インフラ	USD	77	ソーシャル ポートフォリオに 移行
<a href="#">カメルーン・チャド電力相互接続プロジェクト(カメルーン部分)</a>	カメルーン	エネルギー効率	EUR	218	ソーシャル ポートフォリオに 移行
<a href="#">キプワット</a>	ルワンダ	再生可能エ ネルギー	USD	25	サステナブル ポートフォリオ から削除

## 透明性と開発成果

### 開発効果年次報告

開発効果年次報告(ADER)は、AfDBの5つの戦略的優先分野「High 5s」について過去1年間のアフリカの開発状況を評価し、AfDBグループによる貢献を詳述したものです。また、AfDBの融資ポートフォリオ全体を強化し、事業の効果を高めるための継続的取り組みの成果も示しています。2024年版開発効果年次報告書は[こちら](#)よりご参照ください。



### Aid Transparency Index #2024 Index

African Development Bank's sovereign portfolio retains top spot in 2024 Aid Transparency Index

Publish WhatYouFund  
The Global Campaign for Aid and Development Transparency

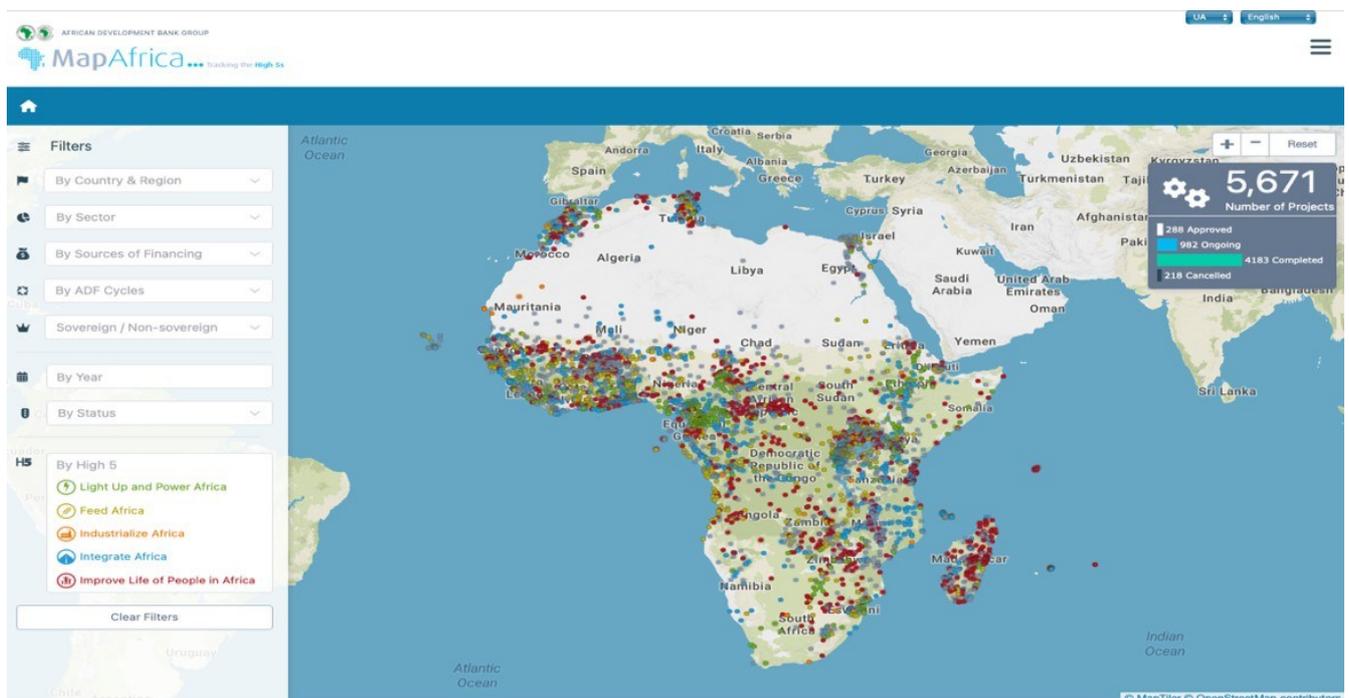


### 援助透明性指数

援助透明性指数は、過去12年間にわたり、主要な国際援助機関の透明性を追跡してきました。2024年には開発金融機関(DFI)の6つのソブリン(公的セクター)ポートフォリオと6つのノンソブリン(民間セクター)ポートフォリオが評価されています。報告書は[こちら](#)よりご参照ください。

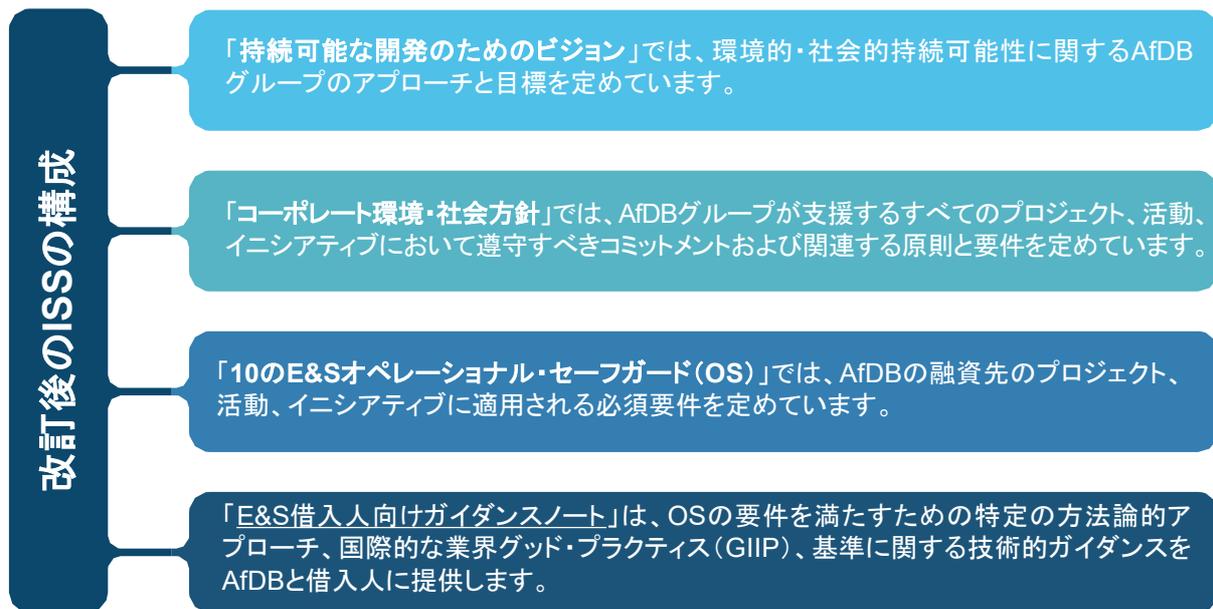
### データポータル

プロジェクト・データポータルから、1967年以降にAfDBが実施したすべての融資プロジェクトに関する情報にアクセスすることができます。ワンクリックで操作できるこのユーザーフレンドリーなポータルサイトでは、既製のツールを用いて5,200件以上のプロジェクトをチェックおよび表示することができ、国別、地域別、セクター別、High 5s別の情報も俯瞰できます。このポータルサイトは、どこにニーズとリソースのギャップがある可能性があるかをより深く理解するのに役立ちます。プロジェクト・データポータルは[こちら](#)からアクセスいただけます。



## 新たな統合セーフガードシステム

統合セーフガードシステム (ISS) とは、資金源を問わず、AfDBが支援するすべての事業（ソブリン事業とノンソブリン事業）に適用されるAfDBグループの環境・社会（E&S）方針のことです。これには、AfDBが管理する信託基金によって支援される事業も含まれ、事業のライフサイクル全体（特定、準備、評価、交渉、実施、中間レビュー、完了）にわたって適用されます。AfDBの理事会は、2023年に改訂後の統合セーフガードシステム (ISS) を承認し、同ポリシーは2024年5月に発効しました。



10のE&S オペレーショナル・セーフガードは、AfDBの融資によって支援されるプロジェクト、活動、イニシアティブのライフサイクル全体にわたって、クライアントが満たすべき基準を定めたものです。下の表に詳細を示します。



改訂後のISSIは、3つの主要な柱に支えられています。



### 環境の持続可能性

AfDBが支援する事業において、環境・社会へのリスクと悪影響を最小限に抑えます。

### 社会的包摂

意思決定プロセスへの真の包摂的参加を促進し、最も弱い立場にある人々を含むコミュニティの権利を保護します。



### 透明性と説明責任

プロジェクトの計画と実施における透明性を高め、すべての関係者に最高水準の誠実さと説明責任を求めることで、健全な環境・社会ガバナンスを確保します。

コーポレート環境・社会方針とオペレーショナル・セーフガードは、資金調達の種類や資金源にかかわらず、AfDBグループが支援するすべての事業に適用されます。AfDBは、AfDBの規則に適合し、AfDBが容認できる方法と期間内にオペレーショナル・セーフガードの要件を満たすと見込まれる事業のみを支援します。これには、単独の事業として提供されるか、事業またはプロジェクトの一部として提供されるかを問わず、あらゆる技術支援が含まれます。

### デューデリジェンス、苦情処理制度、独立救済制度

AfDBは、提案されたすべての事業について環境・社会デューデリジェンスを実施します。これは、その事業を支援するか否かを判断し、支援する場合には、開発、評価、実施において環境・社会へのリスクと影響をどのように考慮するかを判断するためです。これらの環境・社会要件は法的契約に組み込まれており、AfDBは環境・社会問題に関して、クライアントにプロジェクト実施上の助言を継続的に提供します。

AfDBのISSは、プロジェクトの影響を受ける人々から寄せられる懸念に対処するために、プロジェクト提案者に苦情処理制度(GRM)の設立と実施を義務付けています。プロジェクトレベルのGRMは、苦情をタイムリーかつ効果的に解決するための最初の窓口として機能し、苦情が深刻化する前に、影響を受けた関係者との早期対話を可能にします。この制度は、アクセスしやすく、透明性があり、文化的に適切であるように設計されており、影響を受けた個人やコミュニティが報復を恐れることなく苦情を申し立てられるようになっています。

さらに、AfDBが資金を提供するプロジェクトによって悪影響を受けた可能性のある個人やコミュニティは、AfDBの独立救済制度(IRM)を利用することができます。IRMは、AfDBの方針や手続き上の要件に対するプロジェクトの遵守状況について、プロジェクトの影響を受けた人々から寄せられる苦情を独立して審査することで、追加的な救済手段を提供します。IRMは苦情の性質に応じて、問題解決、コンプライアンス審査、またはその両方を通じて介入します。IRMは、AfDBの経営陣から独立しており、AfDBの理事会の直属であるため、説明責任が強化され、AfDBの方針の遵守が確保されています。また、公開事例登録簿を維持し、このリンクからアクセスできる公開ウェブサイトを通じて調査結果や所見を共有することで、透明性を高めています。

